

News Release



< 報道関係各位 >

2006年3月

株式会社テムザック

人に役立つロボットの本格的な家庭普及の幕開け

お留守番ロボット『ロボリア』

4月中旬より本格販売をスタート

コミュニケーションとセキュリティ機能を搭載した実用的な家庭用ロボットです

「人に役立つロボット開発」を目指しているロボットベンチャー企業 株式会社テムザック (代表取締役 高本陽一、本社:北九州市)は、コミュニケーションとセキュリティ機能を搭載した一般家庭向けのお留守番ロボット『ロボリア』の本格販売を、4月中旬よりスタートします。価格は294,000円(消費税込み)です。

日本のロボット技術は世界でもトップクラスで、ロボットの保有稼働台数におきましても世界の約45%を占めています。成長性を含めて最も注目されているロボット産業ですが、産業用ロボットを除くと、まだマーケットは狭く、とりわけ家庭用ロボットの普及が期待されています。現在、家庭用ロボットといえば、ペットの代用的な癒しロボットや、玩具の延長的なロボットなどが、一般には認知されています。

テムザックは、「人に役立つロボット開発」をテーマに、実用ロボットの本格的な家庭普及を目指しています。そして、現代の日本の家庭におきましては、コミュニケーションとセキュリティが特に求められており、それをサポートすることが家庭用ロボットのあり方であるという考えのもと、お留守番ロボット『ロボリア』を、2004年に開発しました。

『ロボリア』は、ロボットとインテリアを融合させたコミュニケーションとセキュリティを主体に様々な機能を搭載したお留守番ロボットです。2003年に開発しましたお留守番ロボット『番竜』を小型化、大幅なコストダウンをはかるとともに、デザインを一新し、インテリア性を高めながら、更なる付加価値を持たせました。

直径 30cm 弱の深海に住む発光体生物をイメージした球状タイプで、携帯電話(NTTドコモ / FOMA)を介してコントロールします。前後左右に移動し、搭載したカメラ画像で室内を監視し、その様子を携帯電話で確認出来ます。人感センサーと音センサーの 2 つのセンサーを備えており、留守番役として家やオフィス、店舗の異常を持ち主の携帯に知らせてくれます。センサーが異常感知したとき、静止画撮影と動画撮影も可能です。携帯電話から『ロボリア』を通じて通話できるので、侵入者に肉声で警告を発することもできます。

また、『ロボリア』をテレビにつなげば、テレビ電話として家族や親戚・友人宅同士など別々に生活している家族間を結ぶコミュニケーションツールとして活用できます。FOMAのローミングサービスが可能な地域であれば、海外でも通話・対話が可能なので、海外旅行時や海外赴任者、ロングステイで別々に生活している家族間でも活用できます。

FOMA回線を利用して使ったダイヤル操作だけなので、お年寄りやお子さんでも簡単に操作できます。携帯電話回線を利用しているので、設置工事や初期設定を必要とせず、すぐに設置・利用できます。(但しロボリアとの通話料はかかります)

昨年より、限定 3000 台を全国の百貨店を中心に先行予約販売することにより、外出時の家庭や店舗、事務所の見張り役として、同居しているお年寄りや介護者、お子さん、ペットの見守り役として、別居している祖父母と孫のTV電話によるコミュニケーションなど、実際に様々な形で幅広くご利用いただくことにより、本格的な家庭普及のための礎を築いてきました。これからのシーズンは、新入学や就職により、親元を離れて新生活をスタートする方々の親とのコミュニケーション、セキュリティ対策としても注目されています。

『ロボリア』は、ロボット産業全体の発展に貢献する意味を含めて、有名百貨店での販売実績を積みながら販路を拡大し、実用的な家庭用ロボットの本格的な普及型タイプ第 1 号としてより多くの方々にご利用いただくとともに、親しんでいただくようにつとめていきます。

4 月 11 日より北青山のTEPIAプラザで開催されます「最先端技術展 PART 」（入場無料）で、『ロボリア』の展示が決定しました。実際に『ロボリア』を操作することも出来ます。今後、様々な形で『ロボリア』を実際に体験していただくための機会づくりも積極的にはかっていきます。



TEPIAプラザ
東京都港区北青山 2 - 8 - 44

お留守番ロボット『ロボリア』の主な特長

遠隔操作で室内チェック。移動、会話も可能

携帯電話(NTTドコモ/FOMA)のダイヤル操作だけで、簡単に『ロボリア』を前後左右に移動しながら搭載したカメラ画像で室内を監視します。携帯電話から『ロボリア』を通じて会話もできます。

留守番機能搭載

外出時は”おでかけモード“に設定。『ロボリア』搭載のセンサーが異常を感知したら、すぐに手持ちの携帯電話(NTTドコモ/FOMA)に通報してくれると同時に、写真撮影と動画撮影も可能です。『ロボリア』を通じて侵入者に肉声で警告を発することもできます。

テレビ電話でコミュニケーション

『ロボリア』を自宅やオフィスのテレビに接続すれば、リアルタイムモニターとしても活用できます。携帯電話のテレビ電話機能を利用すれば、お互いに相手を見ながら会話することができ、コミュニケーションが広がります。

高いインテリア性。イルミネーションが癒しの空間を演出

『ロボリア』の深海に住む発形体生物をイメージした球状タイプのデザインは、親しみやすくあらゆるインテリア空間にマッチします。また、緑、青、赤の3色のLEDを搭載し、各モードに対応した色を発光するほか、インテリアライトとしても個性的な魅力を放ちます。

すでに様々なシーンで『ロボリア』は活躍しています

自宅の見張り番に

『ロボリア』に搭載したセンサー、異常を感知したら警報音を鳴らすとともに、すぐお手持ちの携帯電話に通報してくれます。また、『ロボリア』がとらえた侵入者等の画像を録画撮影や写真撮影するとともに、肉声による警告、威嚇もできます。日常の外出時はもちろん、旅行中の留守宅の見守りなどに利用できます。

セキュリティ会社と契約しているが、駆けつけの時間の事を考えて導入しているという方もいます。また、自宅と離れた診療所の留守番用として利用されている開業医の方や、普段人のいない別荘の見張り用として、実際にご利用いただいています。

子どもの見守りや帰宅の確認に

お子さんが病気で寝込んでいるとき、やむを得ず一時外出するときの見守りや、学校からの帰宅が携帯電話の画像で確認出来ます。また、『ロボリア』本体のボタンを一押しすれば、ホットラインで携帯電話につながりますので、帰宅連絡や緊急時の呼び出しにも対応します。

子どもが生まれたことがきっかけで導入されたという方もいます。

高齢者や在宅介護の見守りに

お年寄りや在宅介護中のご家庭の見守りが出来ます。呼び出しや用事があるときには、『ロボリア』本体のボタンを一押しすれば、ホットラインで携帯電話につながります。

ペットの見守りや呼びかけに

最近、ペットと同居する人が増えています。ひとり暮らしで日中、仕事等で家を空ける場合も、『ロボリア』を通じてしっかりと見守りできます。ペットが騒いでいたり、さみしがっている時には声かけすることができます。

愛犬が病気で、家を離れることが心配で導入されたという方もいます。

外出後のうっかりを確認

外出後、窓の閉め忘れや電気の消し忘れが気になってしまい、仕事が手につかない、などという心配があった時には、『ロボリア』で部屋をひとまわりして確認できます。

ひとり暮らしの帰宅直前、ちょっと確認

ひとり暮らしの場合、特に女性は、暗い部屋を開くのに勇気がいるものです。帰宅してドアを開く前に、『ロボリア』で部屋を一回りチェックすれば、安心して帰宅できます。

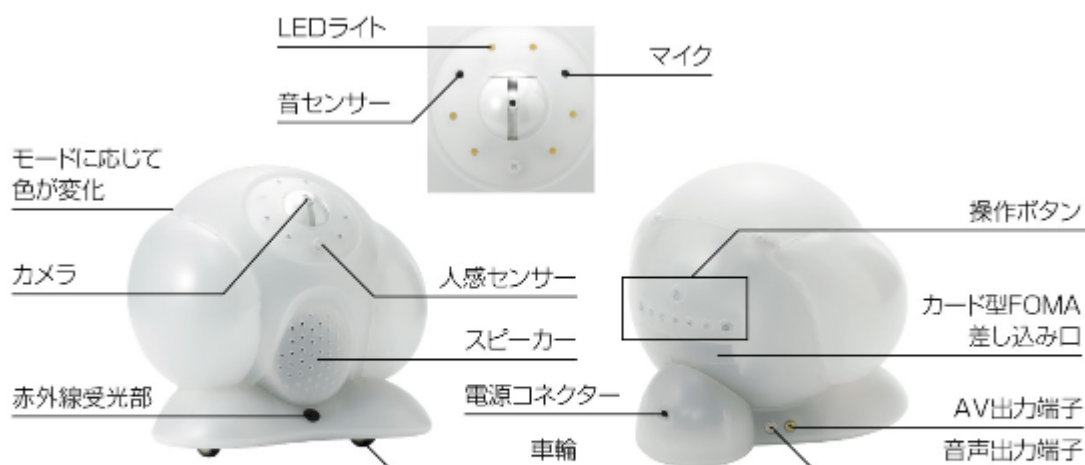
祖父母とのホットライン

進学、就職、結婚等で離れ離れになった家族間のホットラインとして活用できます。『ロボリア』をテレビにつなげば、テレビ電話としても使えるので、遠方でなかなか会えない家族の様子や、孫の成長をいつでも確認できます。FOMA の通話が可能な地域であれば、海外でも通話、対話できますので、海外赴任者やロングステイで別々に生活している家族間でも利用できます。

孫が生まれたことがきっかけで、離れて住む息子夫婦とのホットラインを結ぶためにプレゼント購入されるというケースがあります。

お留守番ロボット「ロボリア」仕様

寸法	(H)270mm × (W)274mm × (D)259mm
重量	約3(電池を含む)Kg
走行	対向2輪型(前2輪駆動、後1キャスト)
駆動方式	車輪(前進・後退・右旋回・左旋回)
通信制御	カード型FOMA
映像入力	カメラ(チルト機能)
センサー	人感センサー
出力端子	映像出力端子 音声出力端子
待機時間	6.5時間(おでかけモード最大時)
充電時間	3時間
その他	マイク、スピーカー、人感センサー、音センサー
価格	294,000円(消費税込み)
ロボリア専用ウェブサイト	http://www.robrior.com/blog/



ファミリーコール	主電源	照明切替(昇順)	照明切替(降順)
リフレッシュ充電	音量アップ	音量ダウン	おでかけ ON/OFF

ロボリアを使用する際の携帯電話は、NTTドコモの第三世代携帯電話「FOMA / フォーマ」のみとなっています。

ロボリア本体にはカード型FOMA(P2402)が必須です

株式会社テムザック 会社概要

設立日 2000年1月4日
所在地 〒803-0851
福岡県北九州市小倉北区木町1-7-8
TEL:093-581-3520 / FAX:093-581-3521
URL: <http://www.tmsuk.co.jp>
代表者 高本 陽一(代表取締役)
資本金 10億4,205万円
事業内容 ロボットの開発、販売。
従業員数 30名(2006年1月現在)

<株テムザック 代表取締役 高本 陽一(たかもと よういち) プロフィール>

1978年 神奈川大学法学部法律科 卒業

1980年 合資会社高本商会(現株式会社テムス) 入社

1987年 株式会社テムス代表取締役専務 就任

1991年 株式会社テムス代表取締役社長 就任

2000年 ロボットベンチャー第1号として株式会社テムザックを設立
代表取締役 就任 現在に至る

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社テムザック 『ロボリア』東京プレスルーム

東京都千代田区一番町20-6-101

(株)リス・パブリック・リレーションズ内)

担当 / 矢島、篠崎

電話:03-3239-7247 FAX:03-3238-0746

東京プレスルームでは、マスコミの皆様方に、実際に『ロボリア』を体験していただくため、展示ルームを用意しています。若干数ではありますが、貸し出し体験も対応しておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい